

～150周年記念の年～

本宮日記



盛岡市立本宮小学校
盛岡市本宮 2-25-1
電話 636-0249

令和6年度
号外

令和7年1月31日

校訓 「宝積」^{ほうしゃく} ～人に尽くして見返りを求めない～

学校評価アンケート結果について

1学期と2学期に、本校の教育について保護者の皆様からいただきました「学校評価アンケート」についての結果をご報告いたします。本結果をもとに、今後の学校運営、保護者・地域との協働について改善を図ってまいりますとともに、日々の指導や充実に役立てるよう努めてまいります。多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

なお、設問についてはある程度特徴的な部分のみとさせていただきますのでご了承ください。

とてもそう思う・そう思う・・・ 肯定的回答 (+)
あまり思わない・そう思わない・・・ 否定的回答 (-) とまとめさせていただきました。
(1+...1 学期の肯定的回答という形になっております。数値は%です)

領域	評価項目	1	2	1	2
		+	+	-	-
学校	学校は、PTA 総会や校報、学年通信等で、学校教育目標に向けた各学年等の取組を伝えるように努めている。	96	99	4	1
	学校は、挨拶運動や宝積活動、異学年活動等を通して「思いやりのあるあかるい子ども」の育成に努めている。	94	99	6	1
	学校は、授業の充実、個に応じた指導、家庭学習等を通して「進んで学習するかしこい子ども」の育成に努めている。	85	87	15	13
	学校は、問題行動等への未然防止・組織的対応、道徳教育等により、互いを尊重し、心豊かに主体的に生活する学級・学年集団づくりに努めている。	88	91	12	9
家庭	家庭では、お子さんの学習や生活の様子を確認し、声かけや助言に努めている。	95	98	5	2
	家庭では、お子さんに家族の一員としての仕事（お手伝い）を決めて、実行できるように声かけ等に努めている。	83	83	17	17
子ども	お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	86	92	14	8
	お子さんは、地域の方や知っている方に明るい挨拶や返事をしている。	73	75	27	25
	お子さんは、友達と関わりながら遊んだり学んだりしている。	91	97	9	3
	お子さんは、学校での学習を理解しているようだ。	86	88	14	12
	お子さんは、読書に親しんでいる（週に1度程度は、学校や家庭で読書をしている（※新聞を含む）ようだ。	72	70	28	30
	お子さんは、心身の健康に気をつけ、悩みや困りごとがあったときに、家族や先生、友達などに話して解決しようとしている。	86	90	14	10
	お子さんは、スポーツに親しんでいる（スポーツをする、または見る、または支える）。	79	80	21	20
	お子さんは、毎日、バスや徒歩で登校している。	93	90	7	10

メディアアンケートの結果については別紙でお知らせいたします。

【領域別傾向】

〈学校〉について

- ・学校の様子や取組を伝えることについては、9割以上のご家庭より肯定的な評価をいただいている。今後も継続したい。
- ・挨拶運動や宝積活動についても、「思いやりのある子ども」の育成のための取組として認知されている。また、学級づくりや生徒指導等への対応についても肯定的評価である。
- ・学校での学習の部分については、他の部分よりは若干低くなっているが、約9割の家庭から肯定的評価をいただいた。今後も更に「楽しく」「わかりやすく」学習内容が身に付くよう工夫していきたい。

〈家庭〉について

- ・ほとんど全部の家庭で、学習や生活の様子を見てくれていることがわかる。家族の一員としての仕事（お手伝い）をできるよう、学校でも働くことの尊さを引き続き教えていきたい。

〈子ども〉について

- ・ほとんどの項目で8～9割の家庭より肯定的な評価をいただいた。しかし、読書や地域での挨拶については、7割程度に留まっている。読書については、本来の読書の楽しみを伝えるよう取り組みを進めたい。地域での挨拶については、挨拶を児童会やPTA、地域とも連携し、明るくさわやかな挨拶が地域に響き渡るように取り組んでいきたい。

【その他のご意見等】

- 学校はとても頑張ってくれていると思う。感謝しかない。
 - 宝積活動や挨拶運動、アルミ缶回収などは素晴らしい活動。続けてほしい。
 - 生活科や各学年の総合的な学習の内容が素晴らしかった。
 - ICTを活用した学習やタブレット学習は楽しくできてよい。
 - 登校を渋った際の対応や、生徒指導的な対応はありがたかった。
 - 異学年交流は心を育てるので、ぜひお願いしたい。
 - スクリレや学校アンケート等が電子化となってとてもやりやすくなった。
 - △自分から挨拶する子が昔に比べて減ったような気がする。
 - △アルミ缶回収や子どもの送迎ルールなど守らない家庭がある。直してほしい。他人の駐車場でリターンするのはあまりに残念。悲しくなる。
 - △学童での言葉遣いが気になる。学校でも家庭でも相手を思いやれる指導を続けてほしい。
 - △職員室が遅くまで電気がついている。感謝しているが、（先生の健康が）心配である。
- ※その他にも、「こんな取り組みをしたら?」「この行事は、この方が良いのでは?」などのご意見もいただきました。ぜひ、皆様のご意見も参考にしながら、3学期からの学校経営に生かしてまいりたいと思います。アンケートへのご協力ありがとうございました。

盛岡市立本宮小学校メディアアンケート結果

※保護者アンケートより、メディアに関わる部分のみ抜粋

※「とてもそう思う・そう思う」を肯定的評価としています。

- 1 家庭ではお子さんと1日辺りのメディア時間(ゲーム・動画・テレビ等)を決めている。

【1学期末】

○プラス評価…73パーセント

【2学期末】

○プラス評価…67パーセント↓

- 2 家庭では、1日のお子さんのメディア時間を決めて実行できるよう、声掛け等に努めている。

○プラス評価…78パーセント

○プラス評価…76パーセント↓

- 3 お子さんは保護者と決めたメディア時間を守っている。

○プラス評価…60パーセント

○プラス評価…55パーセント↓

4 お子さんの1日辺りのメディア時間について

○平日について【1学期】

1時間以内…34パーセント 2~3時間…59パーセント 4時間以上…5パーセント

○平日について【2学期】



1時間以内…35パーセント 2~3時間…57パーセント 4時間以上…6パーセント

○休日について【1学期】

1時間以内…11パーセント 2~3時間…57パーセント 4時間以上…32パーセント

○休日について【2学期】



1時間以内…8パーセント 2~3時間…58パーセント 4時間以上…34パーセント

【分析等】

- ・このアンケートにより、「家庭では1日辺りのメディア時間を決めたり、決めた時間を守るよう声掛けをしたりする家庭」が7割以上いることがわかる。
 - ・しかし、保護者と決めた時間を守れていない子どもが半数程度いるということがわかる。
 - ・1学期末より2学期末の方が、肯定評価が下がってきている。
 - ・平日は大きな変化が見られないが、休日のメディア使用の増加が見られる。中には5時間以上動画視聴やゲームの時間に費やしている子どももいることもわかった。
- ☆メディア時間が多い児童ほど、我慢することが苦手になったり、生活が昼夜逆転になったりして、規則正しい生活が崩れていく傾向が強いようです。メディアに関わる**約束をお子さんと話し合いながら一緒に作るだけでなく、継続して「約束が守れているか見守っていく」**ことが重要です。また、**動画視聴やゲーム以外の楽しみを親子で見つけ、行っていく**ことも非常に有効な手立てだそうです。